

## 柔道大会要項

1. 大会名 第75回 宗像区中学校柔道大会

2. 期 日 令和4年7月2日(土) 予備日 7月3日(日)

○集合・計量 …8:15, 審判監督会議 …8:45

説明・諸注意 …9:00, 試合開始 …9:15

※試合順は、女子団体戦⇒男子団体戦⇒男女個人戦の順で試合を行う。

※開閉会式は行わない。男子女子、それぞれ試合が終わり次第表彰を行う。表彰が終了した生徒から、顧問の指示で速やかに帰宅する。

3. 会 場 津屋崎武道館 (福津市津屋崎1-5-16 津屋崎中学校内)

4. 参加制限 ○団体戦

(1)男子チームは監督(校長・教員・部活指導員)1名, コーチ1名, 選手7名以内。

(2)女子チームは監督(校長・教員・部活指導員)1名, コーチ1名, 選手4名以内。

コーチは各学校1名とする。(男子コーチと女子コーチ兼任)

○個人戦

・体重別に男子8階級, 女子8階級, 合計16階級にてトーナメントを行う。

・階級 男子 (50kg級, 55kg級, 60kg級, 66kg級, 73kg級, 81kg級, 90kg級, 90kg超級)

女子 (40kg級, 44kg級, 48kg級, 52kg級, 57kg級, 63kg級, 70kg級, 70kg超級)

・出場選手の数は、特に制限を設けない。各校の監督の責任において決定する。

5. 競技方法

<団体戦>

(1)男子・女子とも団体戦は、参加全チーム総当たりリーグ戦を行う。

(2)チーム間の勝敗は次のとおりとする。

①勝者数の多い学校を勝ちとする。

②①で同等の場合は、一本もしくは、それと同等の勝ちによる勝者の多い学校を勝ちとする。

③②で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多い学校を勝ちとする。

④③で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。

⑤④で同等の場合、リーグ戦では「引分け」とする。

(3)リーグ戦の順位は次のとおりとする。

①2勝, 1勝1分, 1勝1敗, 2分, 1敗1分, 2敗の順とする。

②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。

③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。

④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技あり」による勝者数の多い学校を上位とする。

⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を上位とする。

⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。

⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じてリーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。

⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技あり」による敗者数の少ない学校を上位とする。

⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の少ない学校を上位とする。

⑩⑨で同等の場合は、代表戦を必ず行い勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。

## <個人戦>

- (1)トーナメント方式によって行う。
- (2)得点差がない場合は、延長戦（ゴールドスコア）により勝敗を決する。

## 6. 競技規則

- (1)国際柔道連盟試合審判規定（2022 施行）「少年大会申し合わせ事項」及び本大会の申し合わせ事項による。
- (2)勝敗の判定の基準は、団体戦においては「一本」「技有」または「僅差（指導の差2以上）」以上とする。個人戦においては、「一本」または「技有」または「僅差」以上とする。
- (3)代表戦の判定基準は団体戦と同様にするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールドスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗は、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で決する。
- (4)優勢の成り立ちは次の通りとする。「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」
- (5)試合時間は、団体戦・個人戦ともに3分間とし、延長戦は無制限とする。
- (6)競技規則に、問題が起こったときは、専門委員会で協議する。
- (7)チーム編成（オーダー）は体重順とし、一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。なお、補欠の選手を入れる場合も、体重順になるように入れる。（同体重の時は、新たに入る選手が先鋒に近い方とする）
  - ①試合は、選手5名（女子3名）の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。
  - ②一度退いた選手は、再出場を認めない。
  - ③申し込みの選手が事故のため変更するときは、大会開始前において、学校長の職印を押した届けをもってこれを認める。※補欠選手の補充も可。  
新型コロナウイルス感染関連の欠場の場合は専門部で協議する。
  - ④欠員が生じた場合は、大将側から並べ直し、先鋒側から空きとする。
- (8)柔道着の色は白色とし、帯は白帯と黒帯のみとする。
- (9)柔道着にゼッケンを着用して試合をする。（学校名・名字入り）
  - ①ゼッケンの地色は白色とし、サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
  - ②名字（姓）は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
  - ③書体は太字ゴシック体とする（明朝体または楷書でもよい）。
  - ④文字色は、男子黒色、女子濃い赤色とする。
  - ⑤襟から5～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (10)女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。なお、Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規定（平成25年4月1日より施行）に準ずる。（最大4×5cm、1カ所のみ）
- (11)団体戦・個人戦出場選手は、大会当日の指定された時間帯に体重測定を必ず行うものとする。時間内に体重測定を行わなかったチーム・選手は、出場を辞退したものとする。
- (12)柔道着コントロールは、従来通りの方法で実施する。

## 7. 外部指導者（コーチ）のベンチ入りについて

- (1)令和4年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項により手続き・登録が完了している者。
- (2)コーチのベンチ入りは男女を問わず1校1名とし、ベンチ入り希望者は、大会出場申込書に氏名を明記し、申請を行う。当日のベンチ入りは大会出場申込記載の本人に限る。
- (3)服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守って指導にあたる。
- (4)その他、大会本部により申し合わせた事項を、監督会議の折りに各学校の監督に連絡する。

## 8. 参加資格 宗像区大会参加資格による。

9. 表 彰 男女とも団体・個人戦の1～3位まで表彰する。団体上位2チーム、個人各階級2位以上の選手は7月16日(土)の筑前地区大会に出場する義務を負う。  
前年度優勝校 (男子) 福間中学校 (女子) 津屋崎中学校
10. 専門委員 専門部長 花田 英雄 (城 山) (福間東) 梶原 五十鈴  
(城 山) 木村 騰哉 和田 翠 (福 間) 花田 朋子 水崎智津子  
(津屋崎) 中野 美佳 (中 央) 笠間 美沙樹  
(河 東) 菅野かおり (日の里) 山下 進也
11. 組み合わせ 団体戦・・・宗像区柔道専門部において事前に抽選し、リーグ戦の試合順を決定する。  
個人戦・・・7月1日(金) 事前準備の際、監督会議で組み合わせと試合順を決定する。
12. 申し込み 規定の申込用紙に書き込み、令和4年6月24日(金)までに郵送かFAXで申し込むこと。  
FAX申し込みの場合は、当日、審判監督会議までに原本と差し替える。  
あて先 〒811-4145 宗像市陵巖寺1-13-1 宗像市立城山中学校 花田英雄 宛  
FAX (0940) 33-8649
14. 試合順 女子団体戦 → 男子団体戦 → 男女個人戦 の順で行う。
15. その他 試合終了後すぐに監督会議を開き、筑前地区大会の申し込み手続きを行う。